



Google アナリティクス 4 × どこどこ JP

連携設定手順書

～Google タグ マネージャー編～

第 2.0 版 2023 年 10 月 30 日作成

版	日付	内容
第 1.0 版	2022 年 5 月 25 日	作成
第 1.1 版	2022 年 7 月 13 日	探索レポート追加
第 1.2 版	2022 年 7 月 26 日	組織アクセス分析レポート（データポータル）追加
第 1.3 版	2023 年 6 月 26 日	Looker Studio について項目更新
第 2.0 版	2023 年 10 月 30 日	サンプルコードとキャプチャ更新

マニュアルの目的

【概要】

どこどこ JP は、Web サイトに訪れたユーザーの IP アドレスを元にアクセス地域(国、都道府県、市区町村)、ドメイン、組織名、業種などのユーザー属性判定を行うサービスです。どこどこ JP は、IP アドレスからアクセス地域などのユーザー属性を判定するために、IP Geolocation Database SURFPOINT™ を利用しております。

「Google アナリティクス 4 プロパティ×どこどこ JP 連携設定手順書～Google タグ マネージャ編～」(以下、本手順書)は、Google 社が提供するタグ管理システムである Google タグ マネージャーを用いて、どこどこ JP と Google アナリティクス 4 プロパティの設定・設置を行う方法について説明します。本手順書をご一読いただき、本システムの特徴・注意点を留意いただいた上でご利用をお願いいたします。

【情報内容】

本手順書はサービスにお申し込みをいただいたお客様を対象に作成されています。

お申し込み方法は、弊社 Web サイト (<https://admin.docodoco.jp/signup/>) をご参照いただきますようお願い申し上げます。

【商標について】

- 当社商標について
 - どこどこ JP、SURFPOINT は、株式会社 Geolocation Technology の登録商標です。

- 他社商標について
 - Google、Google Analytics、および Chrome ブラウザは Google Inc. の登録商標です。なお、Google Analytics を Google アナリティクスと記述しています。
 - JavaScript は、Oracle Corporation およびその子会社、関連会社の米国 およびその他の国における登録商標または商標です。
 - その他記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

お問合せ先

お問い合わせは弊社 Web サイトの下記ページをご利用ください。

<https://www.docodoco.jp/contacts/customer-support/>

目次	
マニュアルの目的	2
【概要】	2
【情報内容】	2
お問合せ先.....	2
1. どこどこ JP API キーを確認する	4
2. Google アナリティクス 4 プロパティ 測定 ID を確認する.....	5
※こちらの控えは P23.⑥測定 ID の項目に入力します。	6
3. Google アナリティクス 4 カスタムディメンションを設定する.....	7
4. Google タグ マネージャーの設定について	10
5. Google タグ マネージャーのタグを HTML へ設置.....	11
6. Google タグ マネージャー管理画面でタグを設定する.....	13
6-1 どこどこ JP の属性値をセットするカスタム HTML タグの設定	14
6-2 Google アナリティクス GA4 の設定.....	19
7. Google タグ マネージャーの動作確認（プレビューモード）をする	29
8. 設定を公開する	32
プレビューモードでタグの動作確認ができれば、変更内容を実際にサイトに反映するために「公開」を行います。	32
9. (参考) Chrome ブラウザを使った動作確認の方法.....	32
9-1 Google Analytics Debugger で確認	32
10. どこどこ JP×GA4 アクセス企業分析レポートの作成手順（Looker Studio）.....	34

1. どこどこ JP API キーを確認する

どこどこ JP 管理画面にログインし、Google アナリティクスにて、
トラッキングコードのカスタマイズをする際に使用する API キーを確認します。
なお、利用登録までの流れについての詳細は、別紙「[API 登録マニュアル](#)」をご参照ください。



- ① [管理画面](#)にログインをします。
- ② 「ホーム」画面の「FQDN/URL」からご利用中の URL をクリックします。
- ③ URL クリックすると「API 詳細」画面に移動します。



- ④ 上記のように「API キー」が表示されますので、コピーしてテキストエディタなどに控えておきます。

「1. どこどこ JP API キーを確認する」はこれにて終了です。

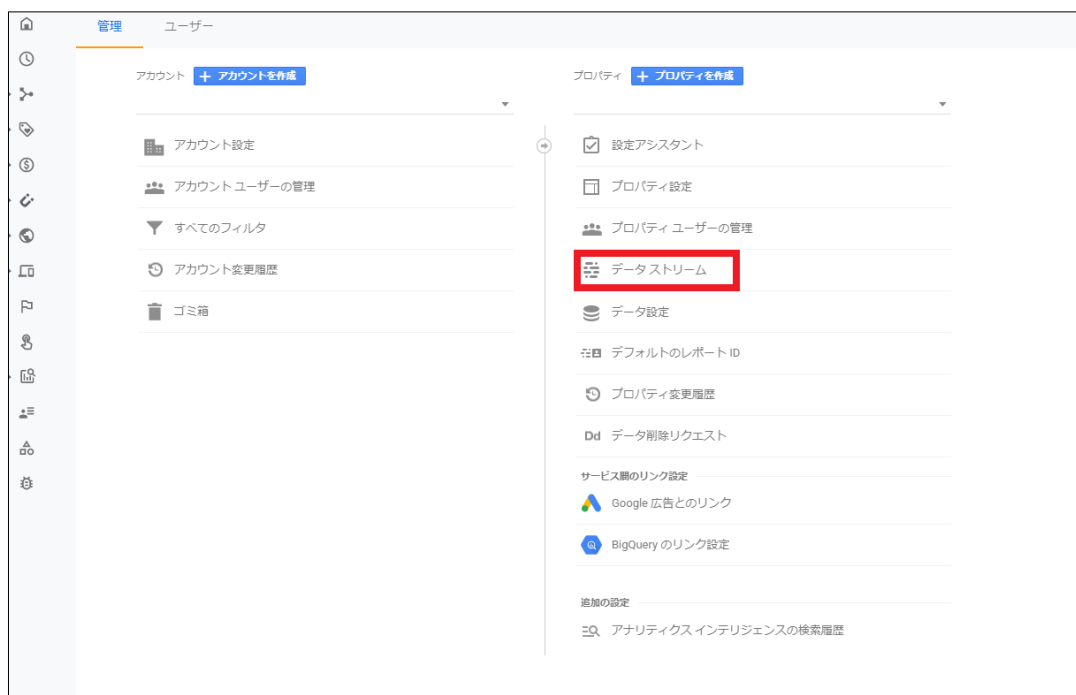
2. Google アナリティクス 4 プロパティ 測定 ID を確認する

Google アナリティクス 4 プロパティのトラッキングコードのカスタマイズをする際に使用する Google アナリティクス 4 プロパティの測定 ID を確認します。

- ① Google アナリティクスにログインをします。
- ② 画面左下のメニューの「管理」を開きます。



- ③ 管理メニューが表示されます。



- ④ 「該当アカウント」 ⇒ 「該当プロパティ」 ⇒ 「データストリーム」の順に選択します。
- ⑤ 対象となるストリームをクリックします。

⑥ 対象となるストリームをクリックすると以下の画面に移動します。

× ウェブストリームの詳細

ストリーム URL: <https://...> ストリーム名: どこどこJP 測定 ID: [REDACTED]

ストリーム ID: [REDACTED] ステータス: 過去 48 時間に受信したデータはありません。 [詳細](#)

測定機能の強化

ページビューの標準測定に加え、サイトのコンテンツとのインタラクションを自動的に測定します。リンクや埋め込み動画などのページ上の要素のデータは、関連するイベントとともに収集される場合があります。個人を特定できる情報が Google に送信されないように注意する必要があります。 [詳細](#)

測定中: ページビュー数 スクロール数 離脱クリック 他 3 個

タグ設定手順
次のいずれかの方法で、データがこのストリームに流れ込むようにウェブサイトを設定します。

[新しいページ上のタグを追加する](#) [既存のページ上のタグを使用する](#)

- グローバルサイトタグ (gtag.js)
- Google タグ マネージャー
ウェブインターフェースからタグを追加したり管理したりすることで、Google アナリティクスなど Google の各種ツールや Google 以外のツールにデータを送信します。

⑦ 測定 ID が表示されますのでコピーしてテキストエディタなどに控えておきます。

※こちらの控えは P23.⑥測定 ID の項目に入力します。

「2. Google アナリティクス 4 プロパティ 測定 ID を確認する」はこれにて終了です。

3. Google アナリティクス 4 カスタムディメンションを設定する

「カスタムディメンション」を使って解析処理を行うには、どのような値を処理させたいかをあらかじめ Google アナリティクスの設定画面上で設定しておく必要があります。

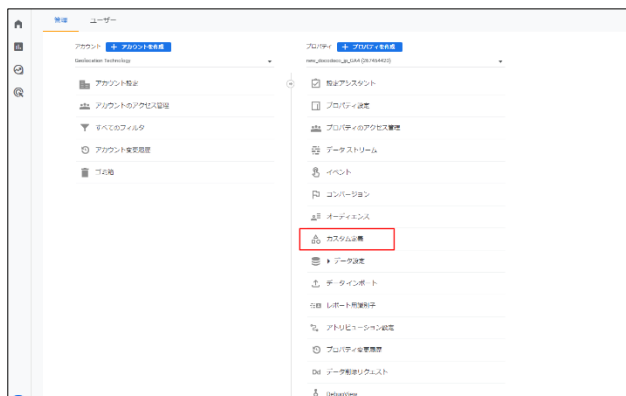
そのため、下記の手順に従って「カスタムディメンション」設定をしていきます。

※「カスタムディメンション」機能は最大 50 個までの任意の値や指標を解析画面上で処理できます。

- ① Google アナリティクス 4 プロパティの「ホーム」画面左側のメニュー「管理」を開きます。



- ② 「カスタム定義」を開きます。



- ③ 「カスタムディメンションを作成」をクリックします。



- ④ クリックすると「新しいカスタムディメンション」の画面に移動します。

- ⑤ 「ディメンション名」「範囲」「ユーザープロパティ」の各項目に下記の表のとおり12個のカスタムディメンションの設定値を入力します。

※「説明」の項目に関しては、わかりやすいように入力するのみのものですので、省略して問題ありません。

- ⑥ 入力内容を確認後「作成」をクリックします。

【表】 設定するカスタムディメンションの一覧

カスタムディメンション	範囲	ユーザープロパティ/パラメータ
組織名	ユーザー	組織名
組織URL	ユーザー	組織URL
業種大分類	ユーザー	業種大分類
従業員数	ユーザー	従業員数
アクセス時刻	イベント	アクセス時刻
上場区分	ユーザー	上場区分
資本金	ユーザー	資本金
売上高	ユーザー	売上高
国名	ユーザー	国名
都道府県名	ユーザー	都道府県名
回線名	ユーザー	回線名
都道府県CF値	ユーザー	都道府県CF値

⑦ 12個のカスタムディメンション全てを追加し終わった際の画面表示です。

カスタム定義 割り当て情報

カスタムディメンション カスタム指標 カスタムディメンションを作成

ディメンション名 ↑	説明	スコープ	ユーザープロパティ/パラメータ	最終変更日	
アクセス時刻		イベント	アクセス時刻	2022年5月18日	⋮
上場区分		ユーザー	上場区分	2022年5月18日	⋮
回線名		ユーザー	回線名	2022年5月18日	⋮
国名		ユーザー	国名	2022年5月18日	⋮
売上高		ユーザー	売上高	2022年5月18日	⋮
従業員数		ユーザー	従業員数	2022年5月18日	⋮
業種大分類		ユーザー	業種大分類	2022年5月18日	⋮
組織URL		ユーザー	組織URL	2022年5月18日	⋮
組織名		ユーザー	組織名	2022年5月18日	⋮
資本金		ユーザー	資本金	2022年5月18日	⋮
都道府県 CF 値		ユーザー	都道府県CF値	2022年5月18日	⋮
都道府県名		ユーザー	都道府県名	2022年5月18日	⋮

Items per page: 25 1 - 12 of 12 |< < > >|

⑧ ⑥の一覧表のユーザープロパティ名が設定されているか表と照らし合わせて確認します。

「3. Google アナリティクス 4 カスタムディメンションを設定する」はこれにて終了です。

4. Google タグ マネージャーの設定について

本手順書では、Google タグ マネージャーの Google アナリティクス GA4 タグテンプレートを使用して Google アナリティクス 4 プロパティのタグを設置する方法をご案内します。

大まかな設定手順は下記になります。

11 ページ「5. Google タグ マネージャーのタグを HTML へ設置」より手順の詳細について記載していますので参照ください。

- ① Google タグ マネージャー管理画面にログイン
- ② 使用するテナを選択
- ③ Google タグ マネージャーのタグを HTML へ設置
- ④ Google タグ マネージャー管理画面でタグを設定する
- ⑤ Google タグ マネージャーの動作確認（プレビューモード）
- ⑥ 設定を公開

【注意】

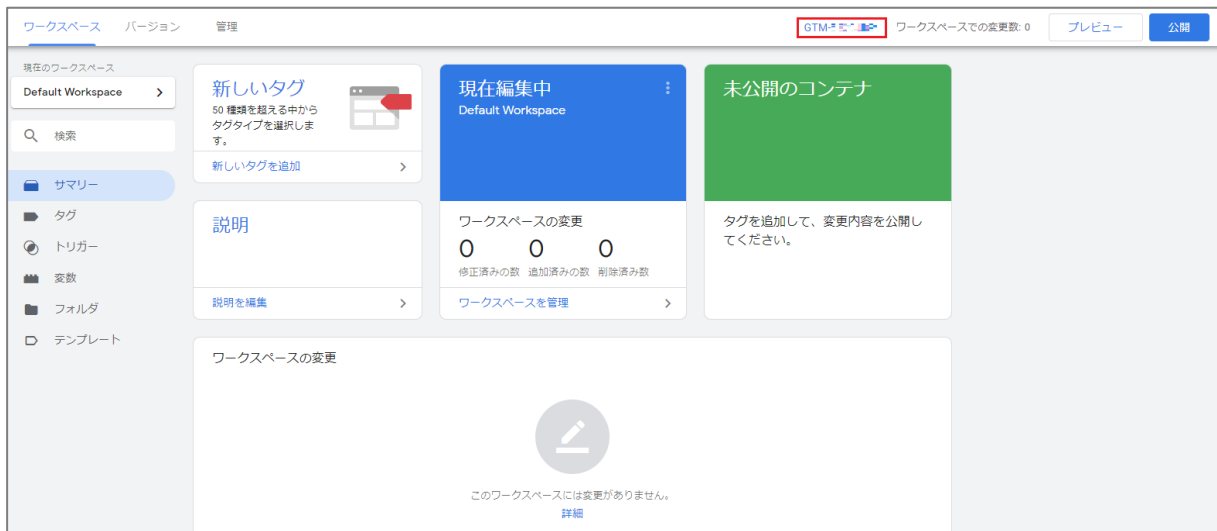
すでに GA4 の計測タグを設定済みで、そのプロパティへ連携する場合は、GA4 の計測タグは新規作成せず、既存のタグに設定を行ってください。タグを複数設置し測定 ID が重複している場合、二重計測の原因となります。

5. Google タグ マネージャーのタグを HTML へ設置

Google タグ マネージャーでタグを管理するため、Web サイトの HTML に Google タグ マネージャーをインストールします。

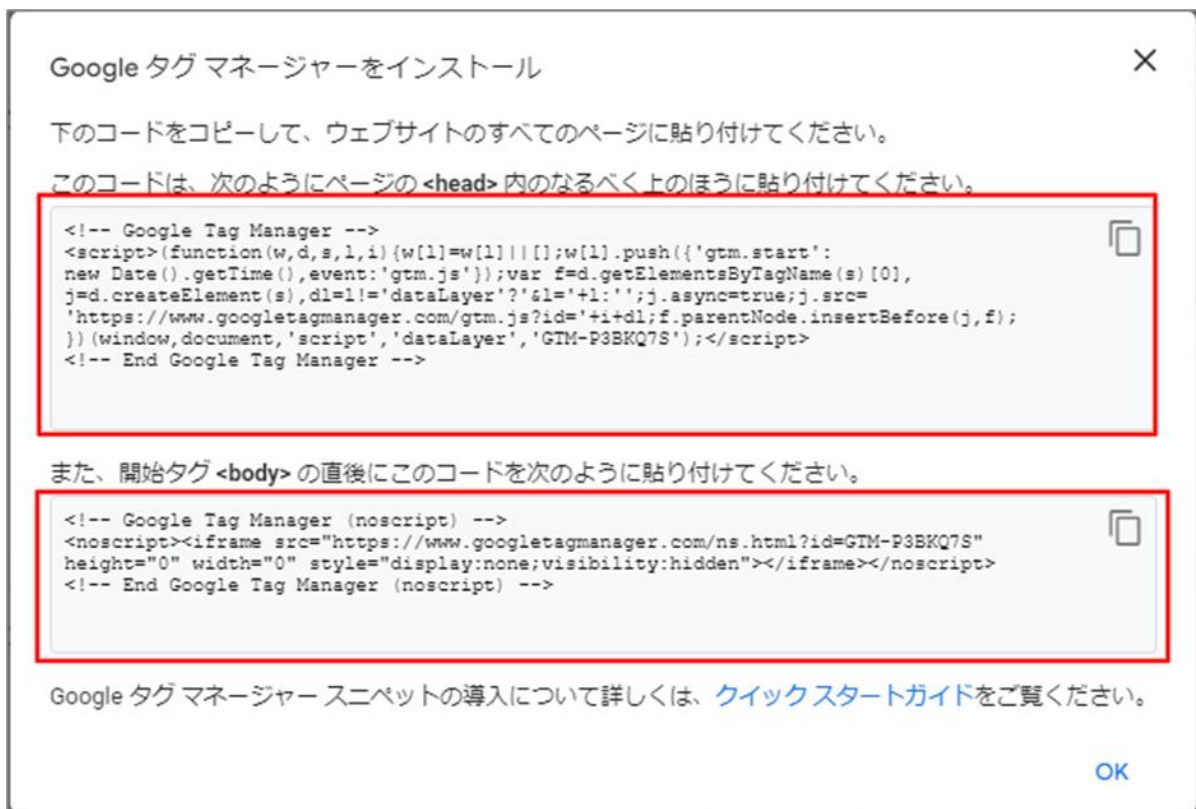
※既に Google タグ マネージャーを使用している場合、本作業は不要です。

① コンテナを選択すると下記画面が表示されます。



② 「ワークスペース」の画面右上にある「コンテナ ID (「GTM-XXXXX」の形式)」をクリックします。

③ 「Google タグ マネージャーをインストール」ボックスが表示されます。



-
- ④ 赤枠でくくった部分をコピーします。
 - ⑤ <script>タグを計測の対象とする全てのページの HTML 中の</head>タグの直前に設置します。
 - ⑥ <noscript>タグを計測の対象とする全てのページの HTML 中の<body>タグの直後に設置することで Google タグ マネージャーのご利用が可能となります。

6. Google タグ マネージャー管理画面でタグを設定する

Google タグ マネージャーの Google アナリティクス 4 プロパティとどこどこ JP を実際に連携させる為の設定を行っていきます。下記①、②はこの手順の大きな内容です。

次ページの「[6-1 どこどこ JP の属性値をセットするカスタム HTML タグの設定](#)」より手順の詳細を案内していきます。

【注意】

Google アナリティクス 4 プロパティとどこどこ JP を連携するためには、下記手順が全て正しく設定されている必要があります。

① どこどこ JP の属性値をセットするカスタム HTML タグ の設定

どこどこ JP から属性値を取得後、dataLayer.push メソッドを用いて変数から必要なカスタムディメンションに属性値をセットする HTML タグを設定します。同時に、Google タグ マネージャーを呼び出す際に使用する event マクロも定義します。

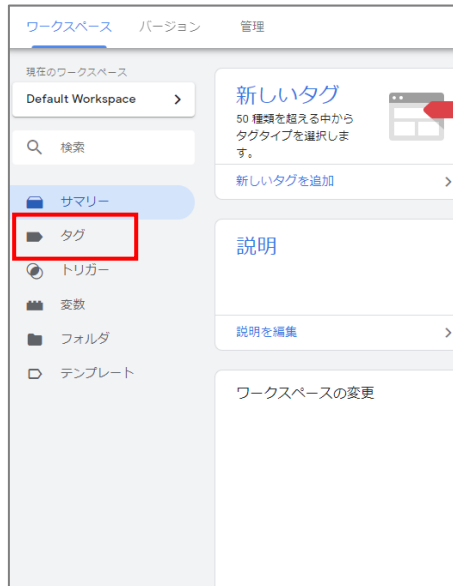
② を利用する Google アナリティクス GA4 タグ の設定

①でセットした event マクロを利用することで、Google アナリティクス GA4 タグにどこどこ JP の属性値を定義したカスタムディメンションが正しく引き渡されます。

6-1 どこどこ JP の属性値をセットするカスタム HTML タグの設定

■ カスタム HTML タグの作成

- ① Google タグ マネージャーサイドバーの「タグ」を選択します。



- ② 下記画面が表示されます。



- ③ 「新規」ボタンをクリックします。
- ④ タグの設定画面が表示されます。
- ⑤ 「名前のないタグ」となっています。



⑥ タグの名前に任意のもの（ここでは「どこどこ GA4 としています」）を入力します。



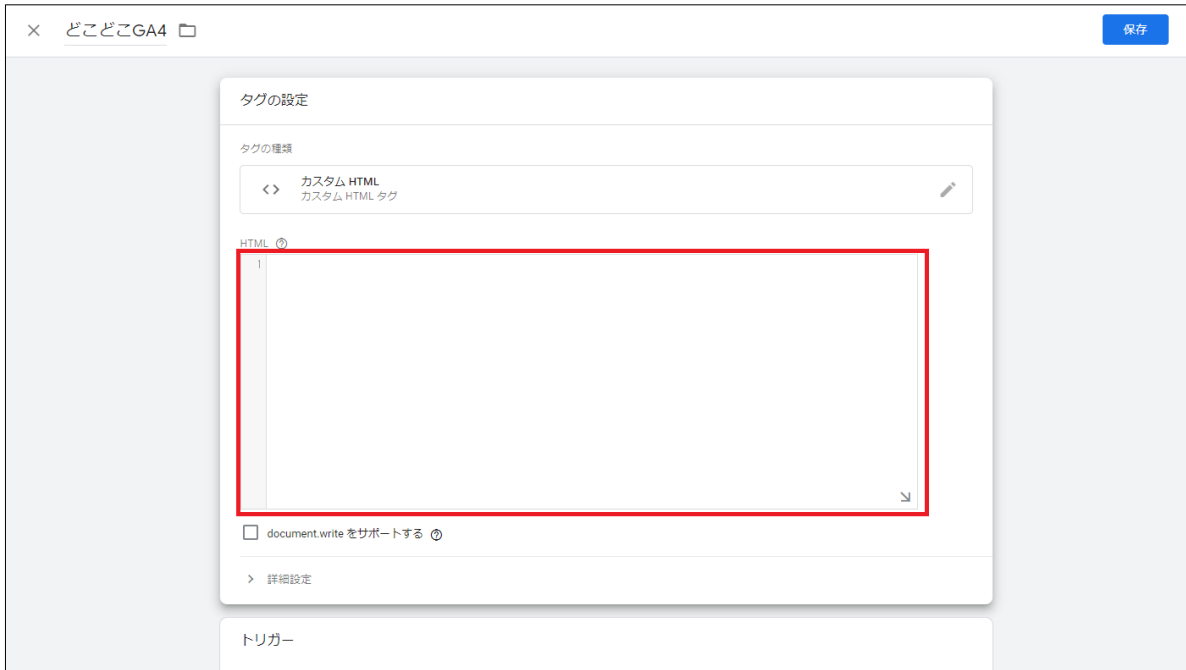
⑦ 「タグの設定」をクリックします。

⑧ 「タグタイプを選択」が表示されます。



⑨ 「タグタイプを選択」から「カスタム HTML」を選択します。

⑩ 「タグの設定」が表示されます。



- ⑪ 「タグの設定」にはカスタマイズしたトラッキングコードを挿入します。
以下のサンプルトラッキングコードをコピー、ペーストします。

```

<!--docodocojp-->
<script type="text/javascript" src="//api.docodoco.jp/docodoco_ua_plugin_4.js"
charset="utf-8"></script>
<!--dataLayer--> <script>
docodocotag = document.createElement("script");
docodocotag.src = "https://api.docodoco.jp/v6/docodoco?key=どこどこ JP の API キー1&bake=1";
docodocotag.referrerPolicy = "no-referrer-when-downgrade";
docodocotag.onload=(function(){
dataLayer.push({
'dimension1_GA4' : SURFPOINT.getOrgName(), //組織名
'dimension2_GA4' : SURFPOINT.getOrgUrl(), //組織 URL
'dimension3_GA4' : getIndL(SURFPOINT.getOrgIndustrialCategoryL()), //業種大分類
'dimension4_GA4' : getEmp(SURFPOINT.getOrgEmployeesCode()), //従業員数
'dimension5_GA4' : getTime(), //アクセス時刻
'dimension6_GA4' : getlpo(SURFPOINT.getOrglpoType()), //上場区分
'dimension7_GA4' : getCap(SURFPOINT.getOrgCapitalCode()), //資本金
'dimension8_GA4' : getGross(SURFPOINT.getOrgGrossCode()), //売上高
'dimension9_GA4' : SURFPOINT.getCountryJName(), //国名
'dimension10_GA4' : SURFPOINT.getPrefJName(), //都道府県名
'dimension11_GA4' : SURFPOINT.getLineJName(), //回線名
'dimension12_GA4' : SURFPOINT.getPrefCF(), //都道府県 CF 値
'event' : 'docodoco_GA4' //イベントトリガー
});
});
document.body.appendChild(docodocotag);
</script>

```

⑫ 赤字で示した部分が、カスタマイズの必要がある部分です。「どこどこ JP の API キー1」の部分「1. どこどこ JP API キーを確認する」で控えたお客様固有の API キーに置き換えます。

■ <!--docodocojp--> 部分

「1. どこどこ JP API キーを確認する」で確認したどこどこ JP の API キー 1 に置換します。

■ <!--dataLayer-->

“dataLayer.push({'dimension1_GA4' : SURFPOINT.getOrgName(), . . .

. . . 'dimension11_GA4' : SURFPOINT.getLineJName(),” 部分

・どこどこ JP の属性値を Google タグ マネージャーの Google アナリティクス GA4 「カスタムディメンション」へ渡すための記述です。

■ “ 'event' : 'docodoco_GA4' . . . ” 部分

・event を合図に Google アナリティクス GA4 タグの配信制御をするために必要な記述です。

・‘docodoco’は、任意の文字列なので変更が可能です。

(6-2 [Google アナリティクス GA4 タグの設定](#)にて利用します。)

■ トリガーの設定

タグを配信するには、少なくとも 1 つ配信するルールであるトリガーを設定する必要があります。

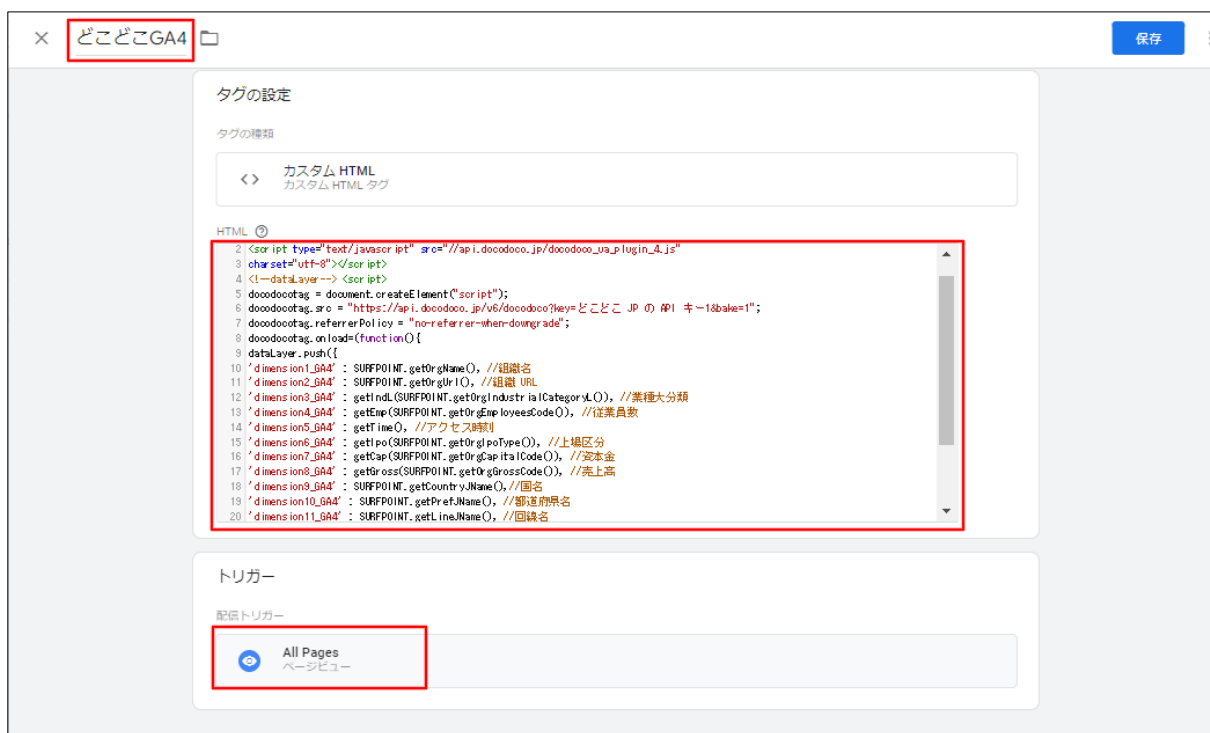
ここでは、全てのページに対してカスタム HTML タグを配信するように設定しています。

特定のページにのみ配信する場合などは、任意のものにカスタマイズをしてください。

- ① 「タグの設定」のページ下部にある「トリガー」をクリックします。



- ② 「トリガーの選択」で「All Pages」を選択します。



- ③ 入力内容の確認後、「保存」をクリックします。

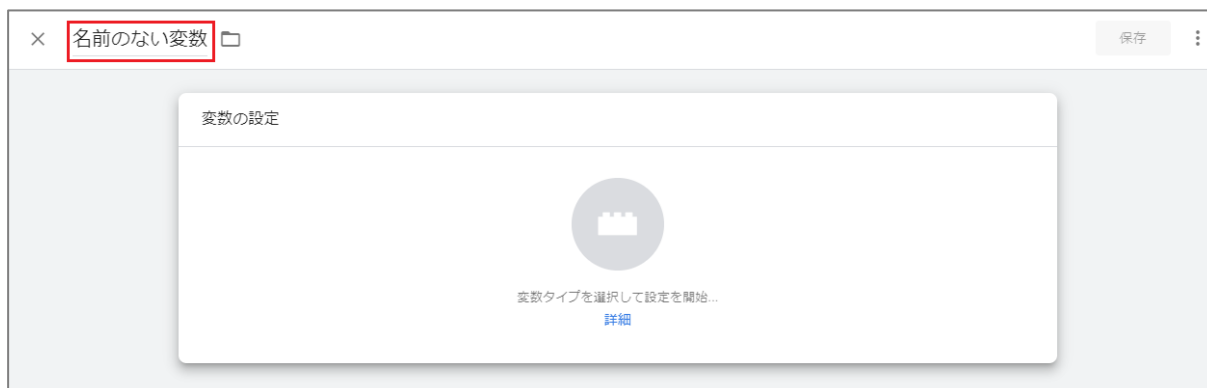
6-2 Google アナリティクス GA4 の設定

■ 変数の作成



① サイドバーの「変数」を選択し、「新規」ボタンをクリックします。

② 「変数の設定」が表示されます。



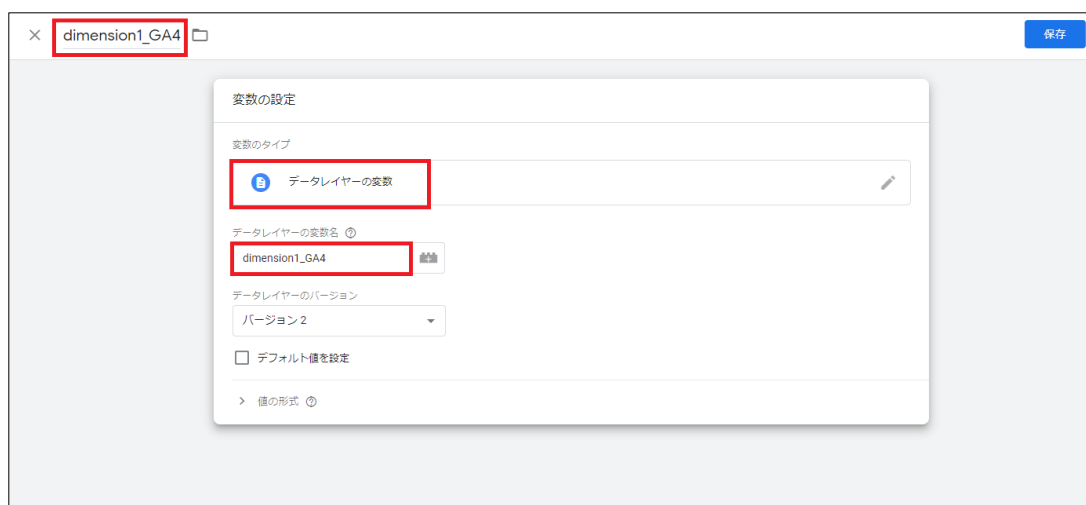
③ 名前のない変数に「dimension1_GA4」を入力します。

④ その後「変数の設定」をクリックします。

- ⑤ 「変数タイプを選択」が表示されます。



- ⑥ 「データレイヤーの変数」を選択します。



- ⑦ データレイヤーの変数名に「dimension1_GA4」を記述します。
⑧ 「保存」ボタンを押します。
⑨ 同様の操作を繰り返して「dimension12_GA4」まで 12 個の変数を作成します。

The screenshot shows a table titled 'ユーザー定義変数' (User Defined Variables). The table has columns for '名前' (Name), 'タイプ' (Type), and '最終更新日' (Last Updated). There are 12 rows, each representing a variable named 'dimension1_GA4' through 'dimension12_GA4'. All variables are of type 'データレイヤーの変数' (Data Layer Variable). The '最終更新日' column shows the last update time for each variable, ranging from '2ヶ月前' (2 months ago) to '2分前' (2 minutes ago).

名前	タイプ	最終更新日
dimension10_GA4	データレイヤーの変数	2ヶ月前
dimension11_GA4	データレイヤーの変数	2ヶ月前
dimension12_GA4	データレイヤーの変数	2分前
dimension1_GA4	データレイヤーの変数	2ヶ月前
dimension2_GA4	データレイヤーの変数	2ヶ月前
dimension3_GA4	データレイヤーの変数	2ヶ月前
dimension4_GA4	データレイヤーの変数	2ヶ月前
dimension5_GA4	データレイヤーの変数	2ヶ月前
dimension6_GA4	データレイヤーの変数	2ヶ月前
dimension7_GA4	データレイヤーの変数	2ヶ月前
dimension8_GA4	データレイヤーの変数	2ヶ月前
dimension9_GA4	データレイヤーの変数	2ヶ月前

■ トリガーの作成

「カスタム HTML タグ」、「Google タグ (GA4 設定タグ)」の順にタグを読み込ませるために、event が「docodoco_GA4」に等しい場合だけに Google アナリティクス GA4 タグを配信するよう設定されたトリガーを作成します。

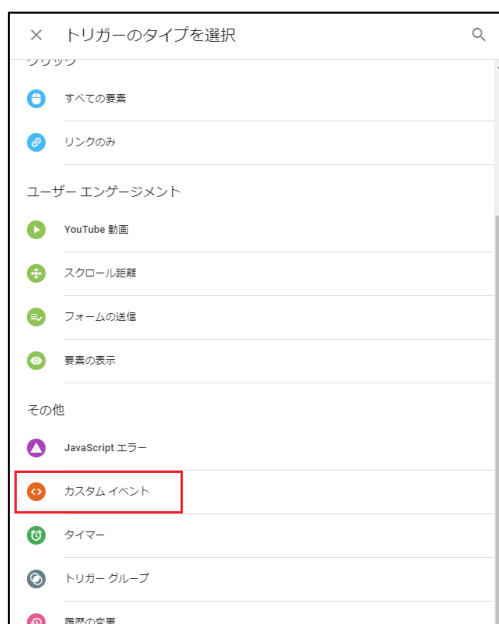
- ① サイドバーの「トリガー」を選択し、「新規」ボタンをクリックします。



- ② 「名前のないトリガー」と表示されます。



- ③ トリガー名に任意のもの（ここでは「docodoco_GA4」）を入力します。
- ④ 「トリガーの設定」をクリックします。



- ⑤ 「トリガーのタイプを選択」で「カスタムイベント」を選択します。

トリガーの設定

トリガーのタイプ

カスタムイベント

イベント名

docodoco_GA4 正規表現一致を使用

このトリガーの発生場所

すべてのカスタムイベント 一部のカスタムイベント

イベント発生時にこれらすべての条件が true の場合にこのトリガーを配信します

Event 等しい docodoco_GA4

- ⑥ 「イベント名」に「docodoco_GA4」を入力します。
- ⑦ 「このトリガーの発生場所」では「一部のカスタムイベント」を選択します。
- ⑧ イベントを配信する条件で「Event 等しい docodoco_GA4」を選択します。
- ⑨ ⑥、⑦、⑧が完了したら「保存」ボタンを押します。

■タグの作成

ここでは、「Google タグ」の作成を行います。

【注意】

※すでに GA4 の計測タグ（Google タグ）を設定済みで、そのプロパティへ連携する場合はタグを作成せず、既存の Google タグに P24 の「■トリガーの設定」のみ行ってください。

ワークスペース バージョン 管理

現在のワークスペース

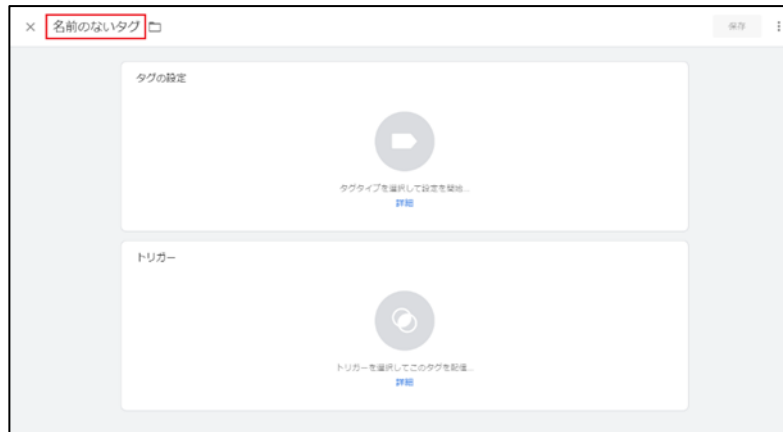
Default Workspace

タグ

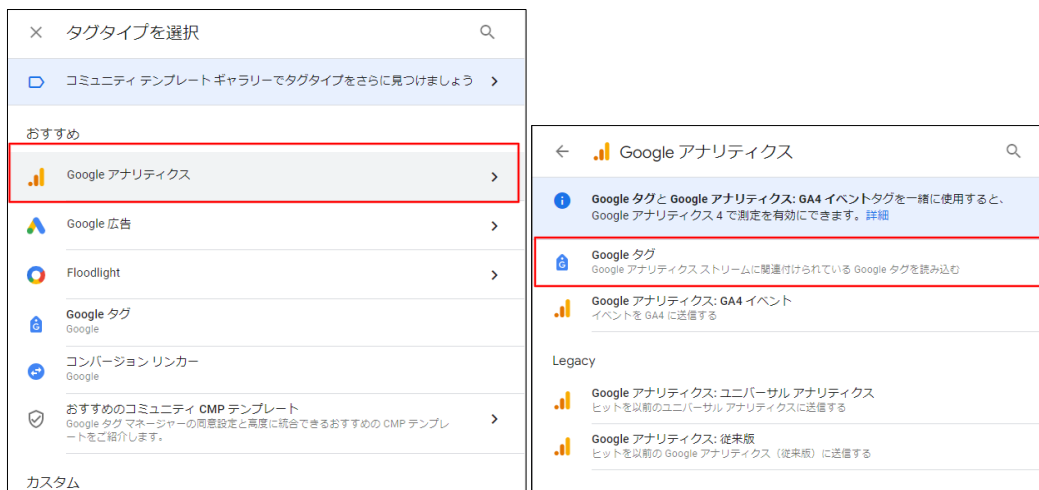
新規

名前	タイプ	配信トリガー	最終更新
どこどこGA4	カスタム HTML	All Pages	2時間前

- ① サイドバーの「タグ」を選択し、「新規」ボタンをクリックします。



- ② タグの名前に任意のもの（ここでは「アナリティクス_GA4」）を入力します。
- ③ 「タグの設定」をクリックします。



- ④ 「タグタイプを選択」から「Google アナリティクス」→「Google タグ」を選択します。

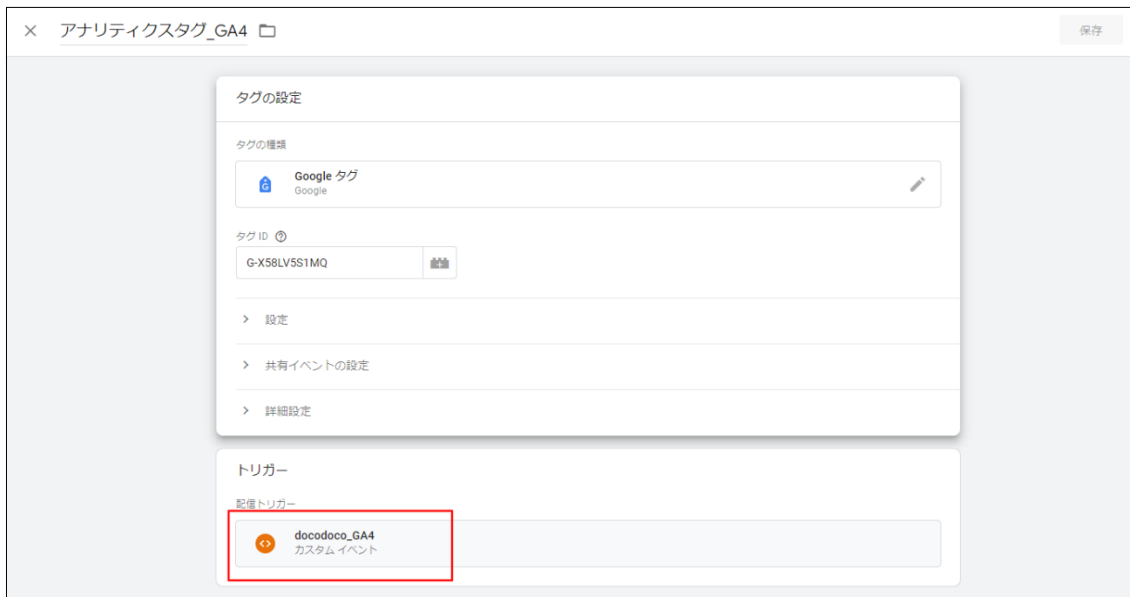


-
- ⑤ 「タグ ID」に、P5.「2. Google アナリティクス 4 プロパティ 測定 ID を確認する」で控えた測定 ID を入力します。

■ トリガーの設定

タグを配信するには、少なくとも 1 つのトリガーを設定する必要があります。

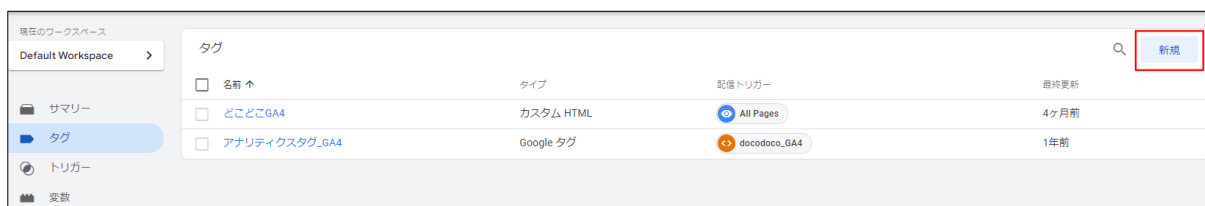
- ① ここではカスタム HTML タグ、アナリティクス GA4 タグの順にタグを読み込ませるために、「トリガー」をクリックします。



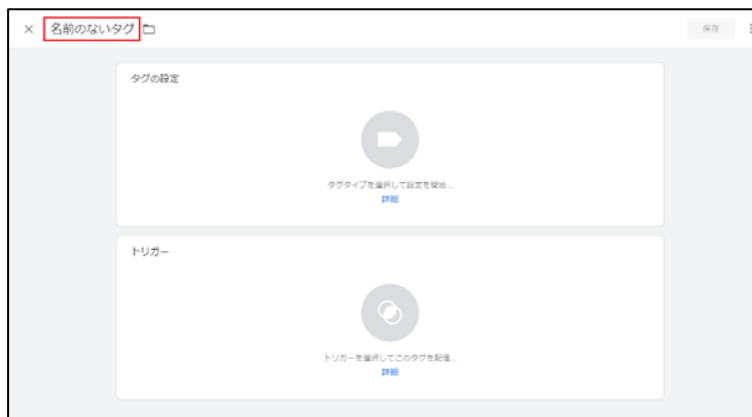
- ② 22 ページで作成したトリガー「docodoco_GA4」を選択します。
- ③ 入力内容を確認して、「保存」をクリックします。

■ タグの作成

ここでは、「イベント_GA4 タグ」の作成を行います。



- ① サイドバーの「タグ」を選択し、「新規」ボタンをクリックします。



- ② タグの名前に任意のもの（ここでは「イベント_GA4」）を入力します。
- ③ 「タグの設定」をクリックします。



- ④ 「タグタイプを選択」から「Google アナリティクス」→「Google アナリティクス:GA4 イベント」を選択します。

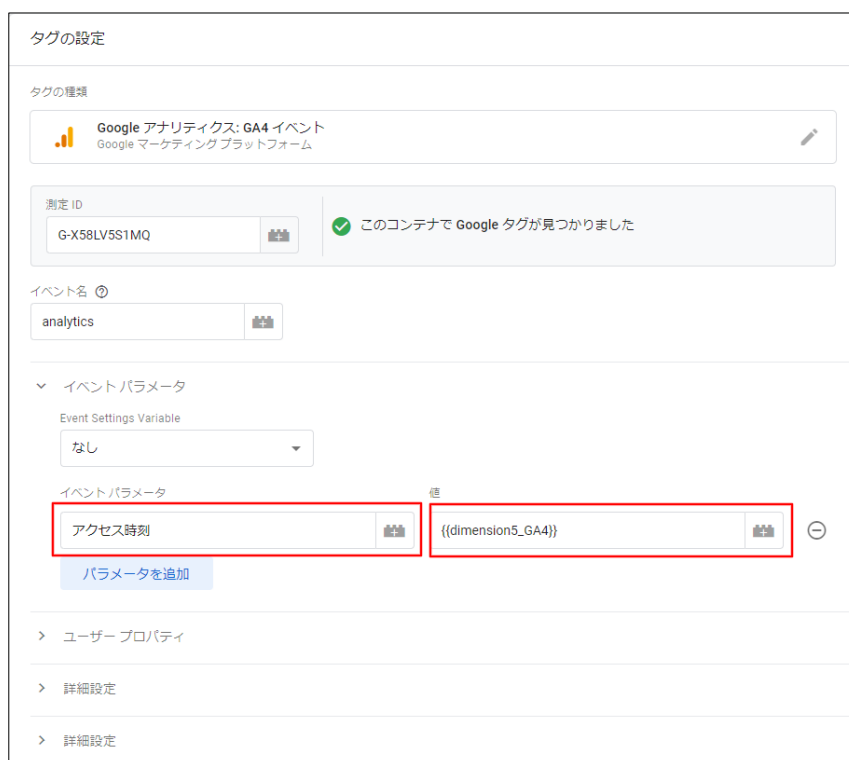


⑤ 「測定 ID」に、P5.「2. Google アナリティクス 4 プロパティ 測定 ID を確認する」で控えた測定 ID を入力します。

イベント名に任意のイベント名を入力します。（ここでは「analytics」としています。）

■ タグへの変数の組み込み

① 下図にあるように「イベント パラメータ」を選択します。




② パラメータ名には、「アクセス時刻」と入力します。

③ 「値」には、先程設定した変数からアクセス時刻を設定した「dimension5_GA4」を選択します。（右側の+をクリックすることで変数を呼び出せます）

- ④ 次に、下図にあるように「ユーザー プロパティ」を選択します。

タグの設定

タグの種類

 **Google アナリティクス: GA4 イベント**
Google マーケティングプラットフォーム

測定 ID
G-X58LV5S1MQ

このコンテナで Google タグが見つかりました

イベント名 ⓘ
analytics

イベントパラメータ

イベントパラメータ	値
アクセス時刻	{{dimension5_GA4}}

ユーザー プロパティ

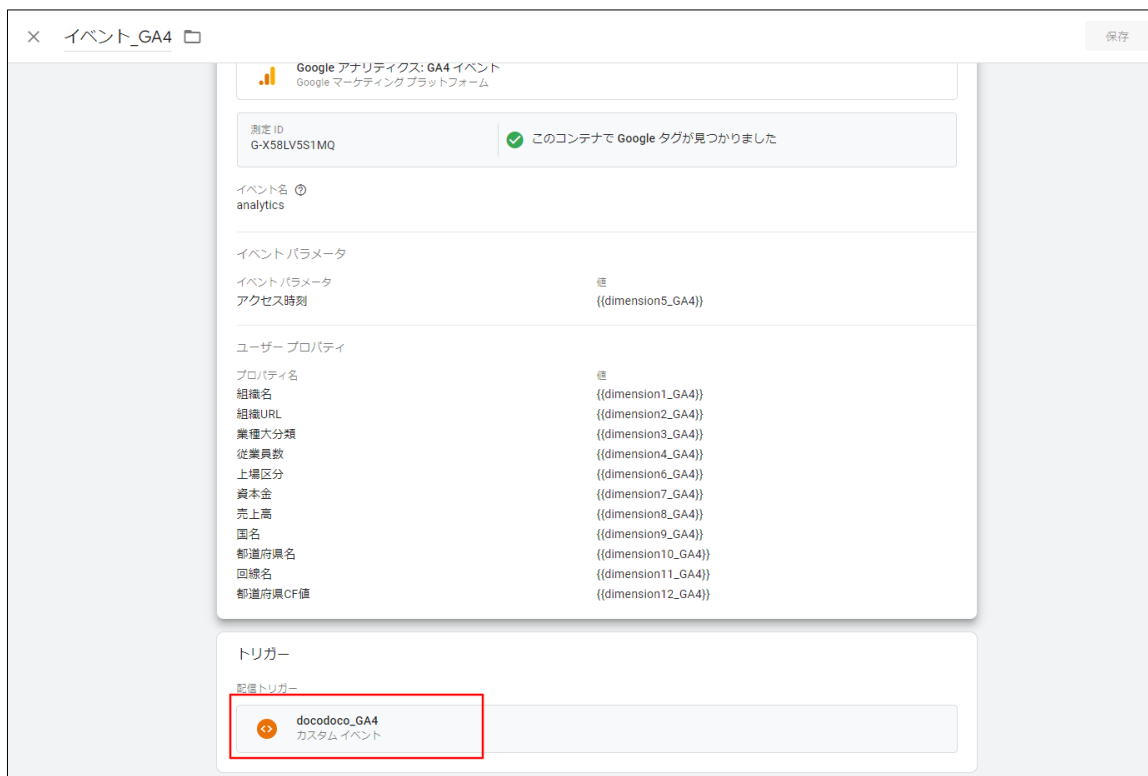
プロパティ名	値
組織名	{{dimension1_GA4}}
組織URL	{{dimension2_GA4}}
業種大分類	{{dimension3_GA4}}
従業員数	{{dimension4_GA4}}
上場区分	{{dimension6_GA4}}
資本金	{{dimension7_GA4}}
売上高	{{dimension8_GA4}}
国名	{{dimension9_GA4}}
都道府県名	{{dimension10_GA4}}
回線名	{{dimension11_GA4}}
都道府県CF値	{{dimension12_GA4}}

- ⑤ プロパティ名には、「3. Google アナリティクス 4 カスタムディメンションを設定する」で設定したカスタムディメンションを表の順番通りに組織名から都道府県 CF 値まで 1 つ 1 つ入力します。ただし先程イベントパラメータへ設定した「アクセス時刻」は除きます。
- ⑥ 「値」には、先程設定した変数を上から順に設定します（右側の+をクリックすることで変数を呼び出せます）ただし先程イベントパラメータへ設定した「dimension5_GA4」は除きます。

■ トリガーの設定

タグを配信するには、少なくとも 1 つのトリガーを設定する必要があります。

- ① ここではカスタム HTML タグ、アナリティクス GA4 タグの順にタグを読み込ませるために、「トリガー」をクリックします。



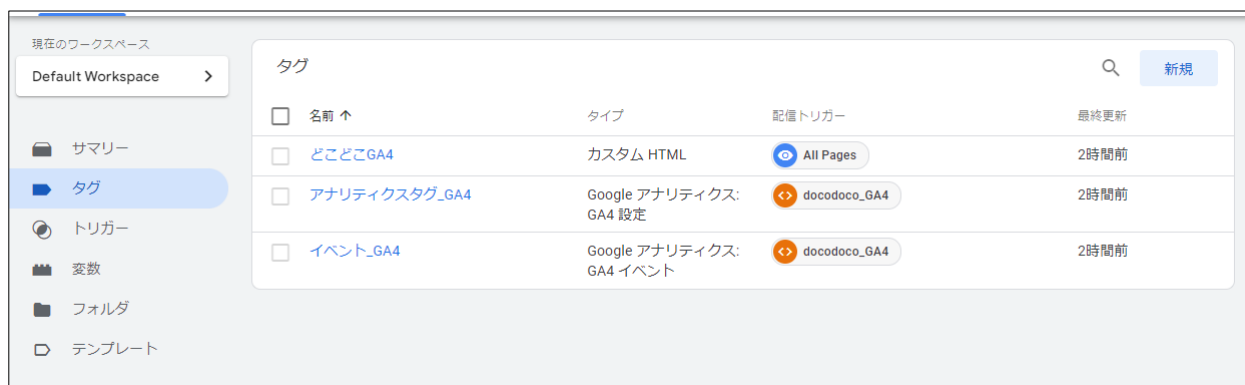
- ③ 先程と同様に 22 ページで作成したトリガー「docodoco_GA4」を選択します。

- ③ 入力内容を確認して、「保存」をクリックします。

- ④ タグの設定確認

タグの一覧画面でこのように設定されていることを確認します。

元のタグが残っていないか、測定 ID が重複していないか確認します。

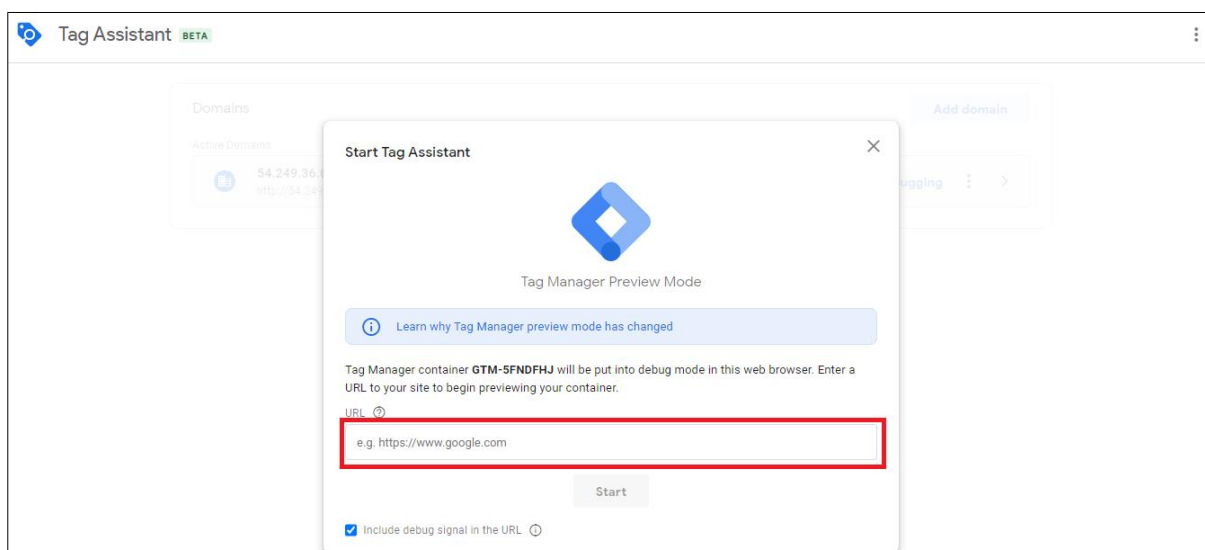


7. Google タグ マネージャーの動作確認（プレビューモード）をする

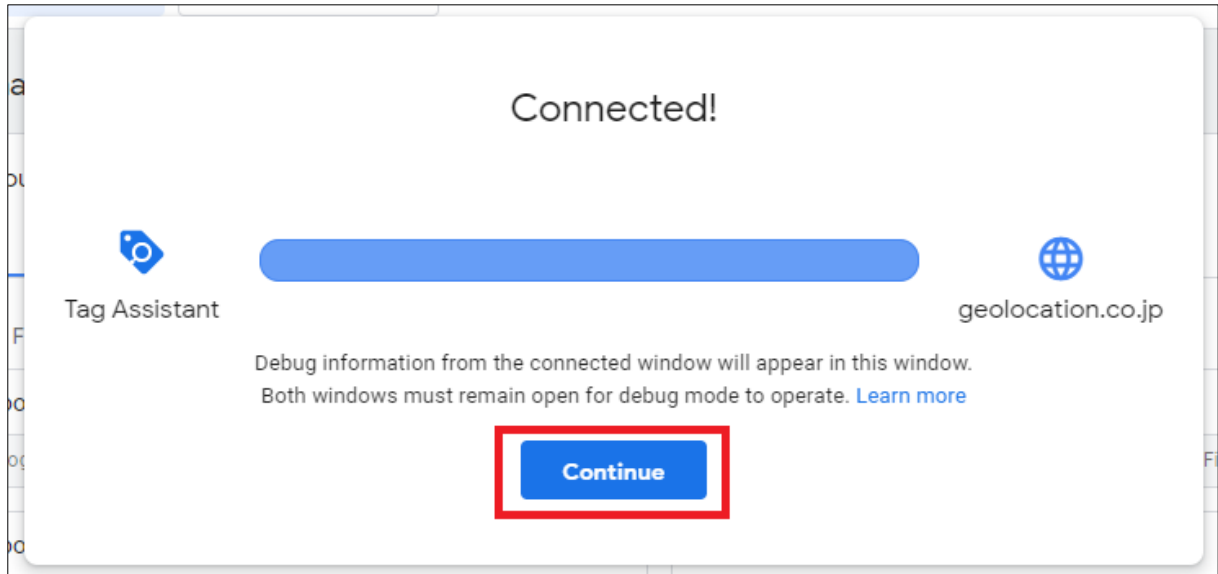
プレビュー機能でタグの動作確認を行います。プレビューモードを使用すると、タグを公開する前に意図したページでタグが配信されているか視覚的に確認できます。



- ① 先ほど設定したコンテナの「ワークスペース」の画面右上にある「プレビュー」をクリックします。



- ② タグアシスタント画面に遷移します。URL 欄に測定するサイトの URL を入力し、「Start」をクリックします。



- ③ 接続に成功すると上記の表示がでますので「Continue」をクリックします。

Google tags found UA-159654694-1 GTM-PC46NPM G-X58LV551MQ

Summary

teora-okinawa.tumblr.com

6 Window Loaded

5 docodoco_GA4

4 DOM Ready

3 Container Loaded

2 Initialization

1 Consent Initialization

Summary

Container Details

Container Name: [.com](#)

Source: On-page gtm.js snippet

Container ID: GTM-PC46NPM

Container Version: env-20

Output of GTM-PC46NPM

Tags Variables Data Layer

Tags Fired

アナリティクスタグ_GA4 イベント_GA4 どこどこGA4

Google タグ - Fired 1 time(s) Google アナリティクス: GA4 イベント - Fired 1 time(s) カスタム HTML - Fired 1 time(s)

Tags Not Fired

None

Google containers found UA-159654694-1 GTM-PC46NPM G-X58LV551MQ

Summary

6 Window Loaded

5 docodoco_GA4

4 DOM Ready

3 Container Loaded

2 Initialization

1 Consent Initialization

Output of GTM-PC46NPM

Tags Variables

Variable	Variable Type	Return Type	Value
_event	カスタム イベント	string	"docodoco_GA4"
dimension10_GA4	データレイヤーの変数	string	"沖縄"
dimension11_GA4	データレイヤーの変数	string	"IPoE"
dimension1_GA4	データレイヤーの変数	string	"株式会社Geolocation Technology"
dimension2_GA4	データレイヤーの変数	string	"https://www.geolocation.co.jp/"
dimension3_GA4	データレイヤーの変数	string	"情報通信業 学術研究, 専門・技術サービス業"
dimension4_GA4	データレイヤーの変数	array	["10人~30人"]
dimension5_GA4	データレイヤーの変数	undefined	undefined
dimension6_GA4	データレイヤーの変数	array	["非上場"]
dimension7_GA4	データレイヤーの変数	array	["\$5千万円~7千万円"]
dimension8_GA4	データレイヤーの変数	array	["1億円~5億円"]
dimension9_GA4	データレイヤーの変数	string	"日本"
Event	カスタム イベント	string	"docodoco_GA4"
Page Hostname	URL	string	"1."
Page Path	URL	string	"/"
Page URL	URL	string	"1. /? gtm_debug=1643346717745"
Referrer	HTTP 参照	string	"https://tagassistant.google.com/"

④ 「アナリティクス_GA4 タグ」と「どこどこ GA4」が配信され、どこどこ JP の値が取得出来ていることが確認できます。

8. 設定を公開する

プレビューモードでタグの動作確認ができれば、変更内容を実際にサイトに反映するために「公開」を行います。設定したコンテナの「ワークスペース」の画面右上にある「公開」をクリックし、「バージョン名」「バージョンの説明」を入力し、「公開」をクリックします。



9. (参考) Chrome ブラウザを使った動作確認の方法

9-1 Google Analytics Debugger で確認

Chrome ブラウザの“Google Analytics Debugger”プラグインを使用すると、Google アナリティクスのトラッキングコードを実装したページで正常に計測が行われているかを確認できます。

※初めて使用される方は下記 URL より Google Analytics Debugger をインストールしてください。

- Google Analytics Debugger

<https://chrome.google.com/webstore/detail/google-analytics-debugger/jnkmfdleelhofjciamephohjchhna>

使用方法



- ① プラグインをインストール後、「有効」になっていることを確認します。
- ② 右上のアイコンを「ON」の状態にします。
- ③ [Ctrl + shift + J]を押します。
- ④ [F5] (再読み込み) を行い、「Console」のタブにどどこ JP の判定結果が表示されます。

	cid: 1770500041.104310430	js?id=G-X58LV5S1MQ&l=dataLayer&cx=c:207
	▼ Event parameters:	js?id=G-X58LV5S1MQ&l=dataLayer&cx=c:207
	en: page_view	js?id=G-X58LV5S1MQ&l=dataLayer&cx=c:207
	up.組織名: 株式会社Geolocation Technology	js?id=G-X58LV5S1MQ&l=dataLayer&cx=c:207
	up.組織URL: https://www.geolocation.co.jp/	js?id=G-X58LV5S1MQ&l=dataLayer&cx=c:207
	up.業種大分類: 情報通信業 学研究, 専門・技術サービス業	js?id=G-X58LV5S1MQ&l=dataLayer&cx=c:207
	up.従業員数: 10人~30人	js?id=G-X58LV5S1MQ&l=dataLayer&cx=c:207
	up.上場区分: 非上場	js?id=G-X58LV5S1MQ&l=dataLayer&cx=c:207
	up.資本金: 5千万円~7千万円	js?id=G-X58LV5S1MQ&l=dataLayer&cx=c:207
	up.売上高: 1億円~5億円	js?id=G-X58LV5S1MQ&l=dataLayer&cx=c:207
	up.国名: 日本	js?id=G-X58LV5S1MQ&l=dataLayer&cx=c:207
	up.都道府県: 沖縄	js?id=G-X58LV5S1MQ&l=dataLayer&cx=c:207
	up.回線名: IPoE	js?id=G-X58LV5S1MQ&l=dataLayer&cx=c:207

- ⑤ この様に「Event parameters:」の下にどこどこ JP の判定結果が表示されれば、どこどこ JP からの情報を正常に取得できています。

※企業名は固定 IP の場合のみ表示されます。うまくいかない場合は、カスタマーサポートまでご連絡ください。

10. どこどこ JP×GA4 アクセス企業分析レポートの作成手順 (Looker Studio)

GA4 と連携したデータは Google の「Looker Studio」で見て頂くことを推奨しております。

Looker Studio のアクセス企業分析レポートの作成方法をご案内します。

■ 設定手順

1. 下記 URL にアクセスし、組織アクセス分析レポートのテンプレートを開きます。(別タブで開くことをおすすめいたします)

<https://lookerstudio.google.com/reporting/f7eacaed-cd04-48b8-9b17-785a4d1091f8>

2. 右上の「…」メニューより「コピーを作成」をクリックします。



※Looker Studio を初めてご利用される方は、アカウント設定画面が表示されます。

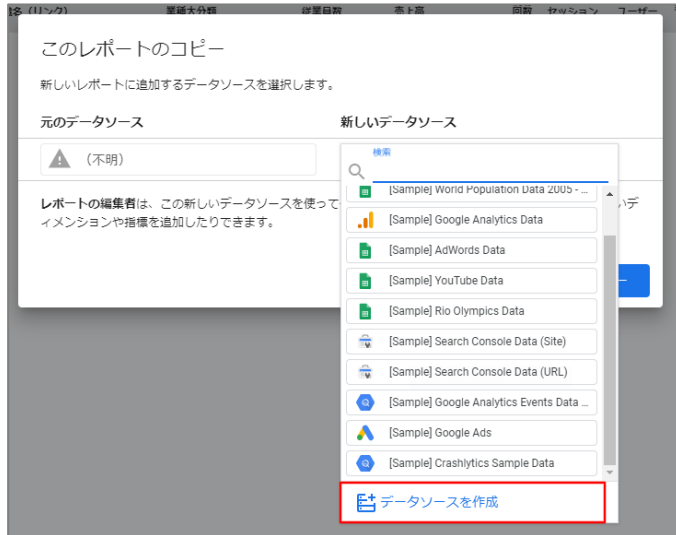
画面の表示に従って操作を進めてください。

3. レポートのデータソースの選択画面が表示されます。「新しいデータソース」の「(不明)」をクリックします。

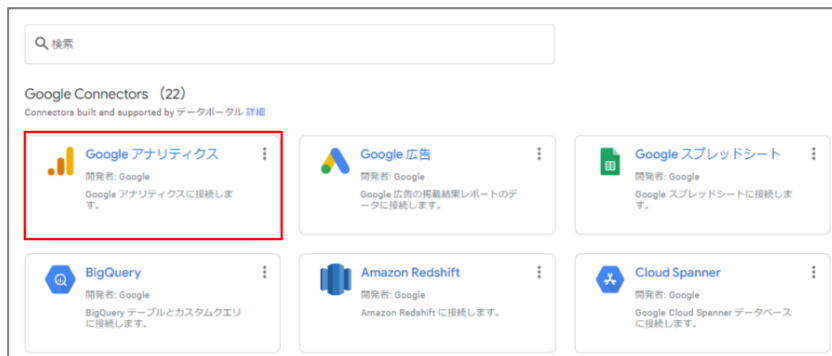


4. 「データソースを作成」をクリックします。

※既に Looker Studio に分析したいデータソース（GA4 のプロパティ）を追加している場合は、該当のデータソースを選択し、手順 11 に進みます。



5. 「Google アナリティクス」をクリックします。



6. 「承認」をクリックします。



7. データソースに追加する Google アナリティクスのプロパティを選択します。

[アカウント]> [プロパティ]にてそれぞれ該当する名前を選択し、右上の「接続」をクリックします。



8. 右上の「レポートに追加」をクリックします。

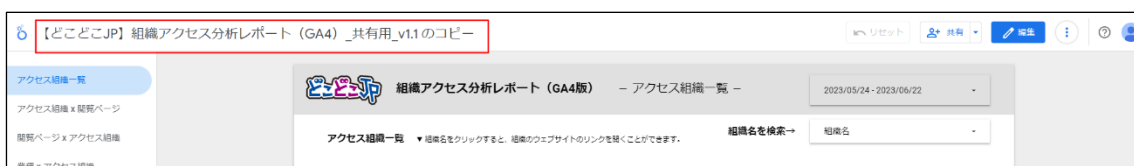


9. レポートコピーの画面に戻るので、「レポートをコピー」をクリックします。



10. コピーしたレポートの編集画面が表示されます。

レポートのタイトルは左上のレポート名をクリックすることで修正できます。

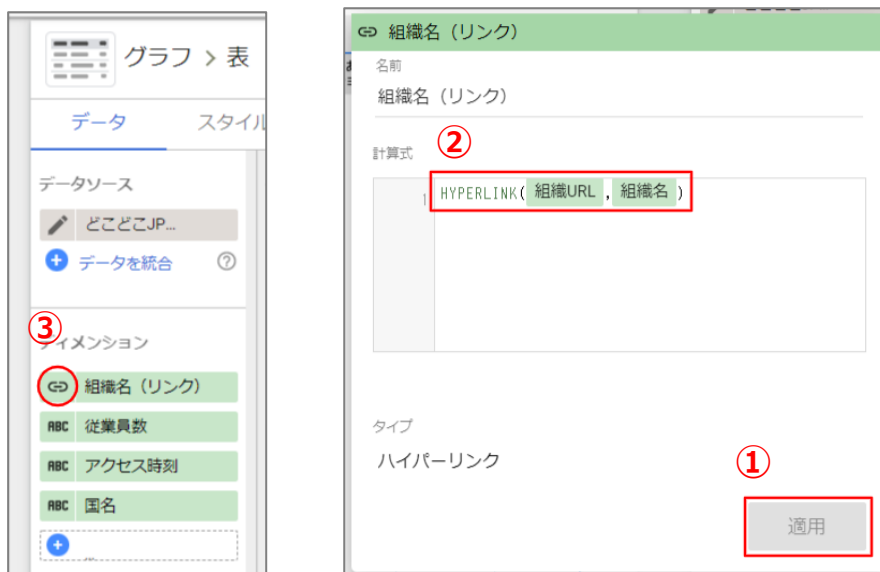


【ご注意点】

コピーしたレポートでは、検索枠や表のカスタムディメンションの項目が異なる場合がございます。
その場合、お手数ではございますが、下記のサンプルのキャプチャを参考にそれぞれディメンションの項目の修正をお願いいたします。

※「組織名（リンク）」の表示結果が異なる場合、下記の手順でディメンションの計算式を修正してください。

- ①修正する表を選択し、ディメンション一覧の「組織名（リンク）」の左のアイコンをクリックします。
- ②計算式を「HYPERLINK(組織 URL,組織名)」に修正します。
- ③「適用」をクリックします。



■ 1 ページ目：アクセス組織一覧

Organization Access Analysis Report (GA4 Edition) - Organization Overview - 2022/04/18 - 2022/05/17

Organization Overview ▼ Click on the organization name to open the link to the organization's website.

Search Organization Name → [Organization Name]

Organization Name (Link)	Category	Employee Count	Sales Volume	View Count	Sessions	User	New User	User per Session	Engagement Rate	Conversion
1.										
2.										
3.										

■ 2 ページ目：アクセス企業 x 閲覧ページ

Organization Access Analysis Report (GA4 Edition) - Organization x Page Overview - 2022/04/18 - 2022/05/17

Organization x Page Overview ▼ Click on the organization name you want to analyze.

Search Organization Name → [Organization Name]

① Organization Overview ▼ Click on the organization name you want to analyze.

Organization Name	View Count	Sessions	User	New User	User per Session	Engagement Rate	Conversion
1.							
2.							
3.							
4.							
5.							

1 - 100 / 447 < >

② Page Overview ▼ Select the organization to view the list of pages.

Page URL (Link)	Page Title	View Count	Sessions	User	New User	User per Session	Engagement Rate	Conversion
1.								
2.								
3.								

■ 3 ページ目：閲覧ページ x アクセス組織

Organization Access Analysis Report (GA4 Edition) - Page x Organization Overview - 2022/04/18 - 2022/05/17

Page x Organization Overview ▼ Click on the page title you want to analyze.

Search Page URL → [Page's full URL]

① Page Overview ▼ Click on the page title you want to analyze.

Page Title	Page URL (Link)	View Count	Sessions	User	New User	User per Session	Engagement Rate	Conversion
1.								
2.								
3.								
4.								
5.								

1 - 100 / 241 < >

② Organization Overview ▼ Select the page to view the list of organizations.

Organization Name (Link)	View Count	Sessions	User	New User	User per Session	Engagement Rate	Conversion
1.							
2.							
3.							

■ 4 ページ目：業種 x アクセス組織

■ 5 ページ目：参照元 x アクセス組織

11. 右上の「表示」をクリックすると、レポートを確認することができます。

■ Looker Studio のカスタマイズについて

お客様のご要望をヒアリングし、ご要望に応じたレポートをご提供することも可能です（有料）。
ご興味のある方は下記よりお問い合わせください。

<https://www.docodoco.jp/contacts/contact-concern/>

■ 株式会社 Geolocation Technology どこどこ JP カスタマーサポート

本マニュアルについてのお問合せ先：<https://www.docodoco.jp/contacts/customer-support/>